

80

てら まち ち い き さ ん さ く どう
寺町地域散策道

▶兵庫県尼崎市



データボード⁸⁰

- ① 兵庫県尼崎市開明町3丁目
- ② 延長123m、幅員8.5~9.5m
- ③ 車止め、石灯
- ④ 御影石、擬石平板
- ⑤ 如来院まつり、文楽のつどい

尼崎市開明町のあたりは、徳川家譜代の大名で築城の名人といわれた戸田氏鉄が、大坂夏の陣から二年後の元和三年（一六一七）尼崎築城にあたって城の建築位置や近隣にあった寺院、さらに戸田氏入部に従って移ってきた寺院を集めて建設した寺町である。

この散策道は、かつての尼崎城下で寺町として栄えた風情をもう一度再現しようと計画した散策道で、灯籠に石畳を配した「レトロ調」の歩道が往時をしのばせている。南側の歩道の両側には、白色の擬石平板を敷き、御影石の車止めや石灯、また街路灯の設置をするなどして、歴史的な雰囲気をもし出している。